

○ 第1部 地域まちづくりについて

1 震生湖誕生100年(2023年9月1日)に向けての対応

【市からの状況説明】

- ・ 地域の熱意が文化庁を動かす形で、震生湖が、現在も土砂崩落の痕跡や湖を一体的に確認できる地質学上で貴重な文化財であるという価値が認められ、本年3月26日に国登録記念物に登録された。地域の多大なる御理解、御協力に心より御礼申し上げます。
- ・ 令和5年9月1日には、関東大震災発生から100周年の節目を迎えるに当たり、地域をはじめ関心が高まっている。歴史的な震災遺構として、多くの方に知ってもらい、後世に伝えるための取組について、地域とともに検討していきたい。
- ・ 景観の改善を図るため、湖畔駐車場と売店があった土地を取得し、売店や栈橋等の工作物を撤去したほか、売店の跡地には、ベンチやテーブルを設置するなど、訪れた方の憩いの場として整備した。
- ・ 令和元年度からは、散策道の整備を開始し、階段の設置や秦野産材によるウッドチップによる舗装などを進めてきた。
- ・ 今年度は、湖畔西側において、ボードウォークを設置し、未整備地の散策道の整備を完了する予定である。
- ・ さらに、国の補助制度を活用し、文化財の見地から、100年後も耐えられるような石製の解説看板を設置する予定である。
- ・ 今後は、市の文化財と観光の主管課が事務局となり、地質の専門家等を交え、震生湖周辺で積極的に活動されている地域と、震生湖誕生100周年の事業内容について、意見をいただく場を設置したいと考えている。具体的には、令和4年度に100周年イベントとして、現地見学会や写真展等の実施、そして、令和5年度に実施予定の100周年を迎える事業について地域とともに検討していきたい。
- ・ 加えて、令和3年3月に、震生湖周辺の整備や普及啓発のために、市民から寄付をいただいております。今後、活用について検討していく。
- ・ 新東名高速道路の開通に伴い、多くの来訪者が予想されるので、引き続き、豊かな自然環境を保全し、良好な景観の向上を図りながら、震災遺構として、後世に引き継がれるよう維持管理に努め、ホームページやSNS等を活用し、観光PRも行っていきます。
- ・ 地域の誇りである貴重な文化資源である震生湖を「100年に向けて」ということだけでなく、「さらに100年後も」伝えていくことができるような想いで、地域、庁内関係部署など、連携を深め、話し合いながら検討していきたいので、地域の御理解と御協力をお願いしたい。

文化スポーツ部長



【質問・要望・意見等】	
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園には小さい子を連れて遊びに行く。小さい子が遊べるような遊園地やジャングルジム、遊具などを整備すれば、みんなが行くと思うので、検討をお願いしたい。 	秦野南が丘 自治会
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖畔の水に親しむのは難しいと思うが、地質学的に非常に価値が高い部分もある。遊具の整備も含めて、より多くの世代に親しんでもらえるよう、まちづくり委員会の方々とも相談をして、考えていく。 	市長
<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看板を付けたり、SNSを使って広めていくとのことだが、それは、市内にいる人や来た人にてである。市外からどのように人を呼び込むのか。 市ホームページを見た人は分かるが、見ていない人はPRしないと来ない。テレビを使ったり、もっと広いアピールをどうするのか、具体的な方策を考えているのか。 	上町自治会
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内外含めてPRをしていくが、ホームページなど色々な媒体を使っていきたい。観光という面もあるので、観光を所管する環境産業部とも連携して、PRしていく。 観光サイドと連携してPRしていくが、タウンニュース等の地域誌、新聞、テレビ神奈川など、広報部門と連携し、研究しながらPRしていく。 	文化スポーツ部長
<p>(要望・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中井町議会でも議員から質問があり「秦野市と連携して取組たい」と町長の回答があった。ぜひ、連携を図って取り組んでいただきたい。 震生湖誕生以降、色んな人が震生湖を訪れているが、最もご協力をいただいているのは、山林や竹林、畑を所有するの方々である。多くは農家の方々だと思うが、ご協力により、散策路や清掃が行われている実態がある。震生湖周辺は、南地区であれば、15分もあれば到達でき、反対側の中井町も10分から15分あれば行ける。当時は、たばこなど、堆肥や落ち葉の収集場であった。ところが、最近は、所有者の方が、山の上で作業ができない実態がある。これからも、色々な形で整備され、今後の展望に向けて検討されるかと思うが、あと100年、ぜひ、所有者の方の悩みも聞きながら、来訪者に愛されるように整備していただきたい。特に、あれこれをしてほしいというのではなく、今の状況を踏まえて、色々な機会に意見を聴いていただいて、施策を作っていただき頑張ってもらいたい。 この数年間、震生湖に対し市で頑張ってもらったことに、感謝したい。 	上町自治会

(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から、震生湖を宝のように思い、地域で取り組んでいただき、御礼を申し上げる。 中井町では、今年4月に担当課長を配置し、円滑に進められるよう取り組んでいる。本市の整備に合わせ、中井町でも同様に整備したいとの話を伺っており、情報共有をしている。今年度末の整備については、解説看板の石碑を設置し、周辺には、ウッドチップ舗装をさらに延伸する。湖の西側は、雨が降るとぬかるみやすく、ボードウオーク(木道)を作って、歩きやすくする方向性にある。さらに、中井町側の整備については、連携して取り組んでいく。 周辺の地権者、農家の方々の御協力は、地元のあつてのことである。100周年を目指す中、いくつか持っている課題に対しては、整理をしたい。 今後は、市役所内部にプロジェクトチームを作り、関係課の中で意見を情報共有し進めていく。また、まちづくり委員会などを含め、地元の様々な意見をいただく場を作りながら、計画的に進めたいと考えているので、御協力をお願いしたい。 	環境産業部長
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> 太鼓橋は中井町に位置するが、橋を渡って左側を進んだところが中井町である。震生湖の魅力の向上を図っていくうえでは、中井町との連携が不可欠である。今年度は、中井町で担当課長を配置し、中井町長も秦野市と連携を図りしっかり取り組んでいくとの話をいただいているので、令和5年の100周年に向けて、震生湖が地域及び市にとっても、誇れるような資源になるのではないかと考えている、またそうなるように取り組んでいく。 	市長
(要望)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人を外部から呼ぶことを考えると、いくつかの団体が集まったときに駐車場が満車で停めれないこともある。公共交通機関であるバスは秦野駅から朝の1往復しか走行していないため、車が中心になると予想する。震生湖周辺の整備だけでなく、交通のアクセスや車で訪れたときの駐車場を十分に整備していただきたい。また、秦野駅から歩く人もかなりいるかと思うが、登っていく道路に歩道が整備されていない。自動車と人がそれぞれ安全に通行できるような方法があればいいと思うので、検討していただきたい。 	諏訪町自治会
(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> 既に課題として考えている。すぐにできること、できないことがあるが、解決に向けて取り組んでいく。 	環境産業部長

2 南小学校通学路の安全対策強化について

【市からの状況説明】

- ・ 地域の方々には、日頃より、学校運営、児童・生徒子どもたちの安全・安心のために御尽力いただいていることに、改めて感謝する。 教育部長
- ・ 通学路の安全対策は、学校、保護者、地域から危険性を指摘され、安全対策を要望されている箇所については、市関係部署、秦野警察署、関係機関と協議して、通行車両への注意喚起や安全啓発のための看板の設置をはじめ、歩道やグリーンベルトの整備に取り組んでいる。
- ・ 本年6月に発生した千葉県八街市の痛ましい事故の発生直後に、市関係部署が集まり、過去の交通事故発生箇所や改善要望の未対応箇所について、改めて検証した。
- ・ その上で、今年度学校からの改善要望にあたっては、見通しのよい道路、幹線道路への抜け道になっている道路、車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所、また、事故にいたらなくても、ヒヤリハットの事例があった箇所等について、新たな視点から危険箇所の抽出をお願いした。その結果、昨年度の要望が76件であったのに対し、今年度は116件(8月6日現在)だった。南小学校区では新たに6箇所、南が丘小学校区では5箇所の改善要望をいただいた。
- ・ 登下校時刻の車両通行規制や歩道設置、道路の拡幅等については、地域の生活道路でもあることから、用地の提供等、地域の御理解、御協力が不可欠な場所もあった。信号機、横断歩道の設置は、交通法令、制度上の規制もあり、時間を要する場所もあった。そのほか、秦野警察署、通学路の見守り活動をするスクールガードリーダーとも意見交換し、施設整備に課題がある場合には、多少遠回りでもより安全な道路を通学路とする方が効果的ではないかとの御意見をもらった。
- ・ 南小学校は、児童数が千人を超える大規模校であり、狭あいな箇所も多く、幹線道路の抜け道として利用する車両も多い地区である。児童・生徒の命に関わることなので、できることは迅速に、困難な箇所は、どうしたら今より改善が図れるかとの緊張感をもって、取り組んでいく。
- ・ 通学路の見直しや見守り活動のあり方、児童・生徒の交通教育についても、関係機関とともに連携して取り組んでいく。引き続き、地域の御協力により取り組んでいく。

【質問・要望・意見等】

(要望)

- ・ 南小学校周辺の歩道の白線を点検し、消えかかっているため、秦野警察署に連絡したところ、南小学校周辺だけは白線がきれいになった。今年の点検でも、歩道や車道の白線が消えているのが確認できている。上町自治会から中町へ下ってくる坂にある中尾橋のところの横断歩道はほとんど見えない。警察署や市役所の担当に会って話したが、道路の舗装がよくない。凹凸のある舗装が良くない場所に白線を塗っても、すぐ消える。児童の通行も多いので、まずは、道路の舗装をしっかりと行っていただき、歩道の白線の塗装をお願いしたい。
- ・ いまいずみほたる公園周辺の歩道の白線も薄くなっている。建設管理課へ写真も渡している。



中町

(回答)



- ・ 既に、市でも把握しているだろうが、改めて確認して対応する。

教育部長

(回答)

- ・ 建設管理課へ提出された写真を改めて確認し、先程の道路の舗装が悪いと白線も上手く白塗りできないという要望の件を含めて、確認し対応をしていく。

建設部長

	<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植木センター周辺に歩道(横断歩道)がない。順番はどうなっているのか。以前から、市や警察署へ相談しているが、未だに設置されない。できること、できないことは、はっきり言ってもらいたい。 ・ 幼稚園、小田急線、植木センターの場所の要望書を提出したが、交通量が多いのに、不思議で仕方ない。失望している。北町、新町、緑町、鈴張町の児童が150人通行している。 ・ 9月に自治会から要望書を提出したが、何の回答もなく、何とかしてもらいたい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="573 507 922 753">  </div> <div data-bbox="1160 507 1518 753">  </div> </div>	<p>緑町自治会</p>
	<p>(回答) ※懇談会后、要望書が地域安全課に提出され、くらし安心部が所管であること確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望に対する回答がないことについては、改めて、確認し、回答する。改めてお詫び申し上げた。 	<p>建設部長</p>
	<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域安全課に横断歩道の設置の要望書をいただいている。 ・ ご要望の場所の前後には、元々横断歩道があり、距離としては、150メートルの間隔があると、警察としては、設置が難しいとのこと。千葉県八街市の交通事故があったことから、通学路については、警察も積極的に見ていくとの考え方を示しており、今回ご指摘の横断歩道の設置についても、検討の場所になっていることを本日確認している。 ・ 改めて、ご意見をいただいたことを警察署へしっかりお伝えしていく。 	<p>くらし安心部長</p>

3 秦野駅のにぎわい創造について


【市からの状況説明】

- ・ 駅周辺に住んでいる人、住んでいない人、いずれも、集まっていただき、地域の資源を生かした中で集い交流することで、にぎわいが生まれると考えている。
- ・ ソフト、ハード面の両面から対応すべきと考えている。
- ・ 今までは、ソフト面では、様々な地域資源を生かそうと、地域の御理解もあり、七福神等のウォーキング事業をはじめ、小田急とみっけもんの旅を実施してきた。
- ・ ハード面では、秦野駅周辺では、ショッピングセンターの建て替えがあり、ペDESTリアンデッキを延伸し、エスカレーターの新設、自転車駐輪場の建て替えの北口駅前広場の整備を行った。
- ・ 一昨年度に「駅南口の和式トイレはいかがなものか」という御意見をいただき、令和元年度に全て洋式化した。令和2年度はコロナから、すべて、水栓は自動水栓にし、個室の洋式の便座に除菌クリーナを設置した。このようにソフト、ハードの両面から商業者団体、個々の商店等を対象に振興策を実施してきた。
- ・ 今後は、民間の活力を生かして、にぎわいを創造していきたい。そのためには、商店街の機能を複合化する、より積極的に街路や商店街エリアの面的な構造を再整備して、訪れる方、留まっていたく方を増やす方策が必要だと考えている。
- ・ まちづくりの部署で、令和2年度に秦野市立地適正化計画を策定した。まちをどうつくるかのコンセプトになるが、その中で、都市の機能を集約していく「都市機能誘導区域」と駅周辺それ以外の居住を誘導する「居住誘導区域」の2つを位置づけている。秦野駅周辺は都市機能誘導区域とし、より人が集まる地域へと計画している。
- ・ また、国では、令和2年3月に「中心市街地活性化促進プログラム」を策定し、中心市街地の活性化を推進することが示された。国のプログラムまた市の立地適正化計画、さらに、人が集まるような、民間企業に来ていただく、民間企業の投資を誘導するような計画をしている。
- ・ 商業地は、単なる商業施設という固定観念を打ち破り、オフィス等の業務施設やホールなどの施設、人が集まるような施設が生まれることにより、新たな商業が生まれ、人が集まり、人が介在し、にぎわいにつながっていくと考えている。これから、一つひとつ着実に進めていきたい。

環境産業部長

【質問・要望・意見等】 なし

○ 第2部 市政全般について	
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室川を利用して、子どもたちを遊ばせる計画がある。水無川も同様だと思うのだが、市はISOを取得しているの、これに基づく定期的な水質検査を実施する中で、室川の支流も検査しているのか。生活用水が流れ込んでいることを危惧しているが、子どもが川の水を触り、そのまま口にしても大丈夫な水質なのか。 ・ 南公民館が行う事業は、白笹稻荷の奥の支流の上なので、生活用水は流れていない。本流を利用して子どもを遊ばせる計画があるが、本流を利用しても水質的に安全なのか。 	上町自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内5河川の水質検査を実施している。結果は市ホームページで公表している。 ・ 川の何か所かで検査を実施している。具体的な場所がどこか、懇談会終了後教えていただきたい。 	環境産業部長
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で、室川を利用して子どもを遊ばせるような構想の中で、水質を危惧しているとのことだが、市で行う検査について、随時公表するので確認していただきたい。 	市長
<p>(意見・要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会への加入が進まないことについては、自治会の存続の問題である。行政である市も、自治会を利用して、色々と回覧板での周知を利用するが、住民の半数近くは自治会に加入していないのが現状である。 ・ 自治会から体育協会や福祉協議会、消防団、日赤などへ供託金や会費等を支出している。集めた自治会費の半分近くを占めている。自治会から供託金等を払わなくて済むように、市から直接、団体等に交付金を支出してほしい。自治会費から支払わなくて済めば、自治会費の金額を下げるができる。自治会費が安くなれば、自治会費を払うのが嫌だと言っている人が変わってくるのではないかと常々思っている。 ・ 自治会は自治会費を負担している。サービスする側は、自治会の会員か非会員かの区別はできないので、いずれも同じサービスを提供する。自治会の加入のメリットがない。会費を徴収され、役員はやらされ、受けるサービスが一緒だと自治会の加入がデメリットとなり、不公平である。 ・ 自治会の役員がやりたくなく、自治会をやめてしまう人がいる。役員をやらなくてもいい方策はないかと悩んでいる。 ・ 自治会の加入のための具体策として、懇親がいいと思い、ゲートボール等企画したが、コロナ禍で全部中止になった。地域の懇親が深まれば、自治会に加入してよかったと思うこともあるのではと考える。 	上町自治会

<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率は、最近5年の推移だと、毎年1ポイントずつ減少し、今現在60%である。 自治会加入の問題は、市民活動支援課の重要課題として取り組んでいる。 自治会の中に対策を考える部会を作り、継続的に協議している。その中で、自治会長を対象にアンケート調査を実施した。魅力を作っていかなければ、自治会に加入してもらえない、とどまってもらえない。増やす取組だけでなく、加入者がやめない取組も始めた。 今年度、市から100万円のまちづくり交付金を交付している。地域の魅力を高めてもらう取組も始めた。 自治会最大の魅力、加入してよかったと思うのは災害、防災時である。各自治会、市から補助している補助金が、年度上半期で使い切るくらい熱心に自主防災会の活動に取り組んでいただいている。市も地域のPRをして魅力を高め、自治会加入へつなげていく。 	<p>くらし安心 部長</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会長はじめ、自治会の皆さんも、市も全く同じ気持ちで悩んでいる。 地域の絆の希薄化、地域コミュニティの弱体化は残念ながら、全国どこでも同じような状況になりつつある。 地域の力を引き出すために、皆さんが力を出し合っている地域もあり、自治会連合会での今、自治会加入促進のために取り組んでいることをお示しし、地域コミュニティを強化していきたいと考えている。それぞれの地域の中で、まとまって力を出し合ってもらえるような環境整備に御協力をお願いしたい。 顔の見える関係、向こう三軒両隣の関係が地域コミュニティの基本になると考える。共通認識が持てるように取り組んでいきたい。 	<p>市長</p>
<p>(要望)</p> <p>・ 8月に市へ要望書を提出している。バス通り等の桜の枝の劣化、落ち葉の問題がある。台風が来るたびに木が何本も折れる。たこ公園など、民地に近いところに常緑高木が植わっているところもあるので、すぐに対処できないとは思いますが、予算を立て、住民が暮らしやすい環境づくりを要望する。</p> <div data-bbox="683 1013 1057 1279" style="text-align: center;">  <p>街路樹</p> </div>	<p>南が丘さくら自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは幹線道路、そして、地域の皆さんの自宅近くの木も含めて、維持管理、パトロールをしっかり行っていく。 	<p>建設部長</p>